

2018年6月29日

各 位

株式会社三十三フィナンシャルグループ

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」の公表について

株式会社三十三フィナンシャルグループ（代表取締役社長 渡辺 三憲）は、お客さまの安定的な資産形成に資する金融商品・サービスの提供を実現するため、昨年8月に三重銀行および第三銀行が公表した「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」（以下、「基本方針」といいます。）を統一し、グループとしての「基本方針」を制定いたしましたのでお知らせします。

今後もお客さまのご要望に幅広くお応えできるよう、商品・サービスの品質向上に努めてまいります。

記

1. 「基本方針」の内容

別紙をご参照ください。

2. 制定日

2018年6月29日

3. その他

当社は本方針の制定に合わせて、金融庁が2017年3月30日に公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」を全項目採択しております。

以 上

【お問い合わせ先】

担 当	三重銀行 営業企画部	櫻 井	059-354-7302
	第三銀行 営業推進部	矢 田	0598-25-0353

2018年6月29日

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

三十三フィナンシャルグループは、経営理念「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します」のもと、金融商品の販売・推奨等に関してお客さま本位の業務運営を徹底するため、以下のとおり基本方針を策定し、実践してまいります。

グループ各社（※）の役職員は基本方針に基づき常に「お客さま本位」で考え、行動することで、より質の高い金融サービスを提供し、安定した資産形成の実現をサポートいたします。

※対象となるのは、金融商品の販売・推奨等を行う株式会社三重銀行および株式会社第三銀行です。

1. お客さまにとって最善の金融商品・サービスの提供

- （1）金融商品・サービスの販売・推奨にあたって、適切な情報を提供するとともに、お客さまの金融経済に関する知識・経験・財産の状況および投資の目的・運用方針等を十分にお伺いし、お客さまお一人おひとりにとって最善と思われる金融商品・サービスのご提案を行います。
- （2）商品購入後もお客さまが安心してお取引を継続いただけるよう丁寧にアフターフォローを行い、適切な情報を提供するとともに、安定した資産形成の実現に資するコンサルティングを行います。

2. お客さまへの説明内容の充実

- （1）お客さまに金融商品の販売やサービスの提供に係る重要な情報を理解いただけるよう、わかりやすく平易な言葉で丁寧に説明します。
- （2）特にお客さまが負担する手数料その他費用について、当該手数料がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、わかりやすく詳細に説明します。

3. 役職員の継続的なレベルアップ

- （1）「お客さま本位の業務運営」について役職員一人ひとりが実践できるよう、教育・研修を通じて更なる浸透を図ります。
- （2）お客さまにとって最善となる金融商品・サービスを提供できるよう、役職員に対する研修実施・自己啓発の奨励等により市場動向および商品知識、コンサルティング能力の継続的な向上を図ります。
- （3）役職員一人ひとりの「お客さま本位の業務運営」への取組みが評価される評価体系を整備してまいります。

以 上

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に係る具体的な取組み

1. お客さまにとって最善の金融商品・サービスの提供

(1) 商品ラインナップの充実およびお客さまの利便性向上

- ①幅広いお客さまに適切な商品を選択していただけるよう、良質な商品のラインナップ充実を図ります。
- ②インターネット取引の充実や販売チャネルの拡大等を通じてお客さまの利便性向上に努めます。

(2) お客さま本位の商品提案

- ①金融商品のご提案にあたっては、お客さまの知識・経験・財産の状況および投資の目的・運用方針等を十分にお伺いし把握するとともに、お客さまのライフステージ等も鑑み最適な商品を選定します。

検討の結果、お客さまにとって最善と思われる商品の取扱いがない場合は商品の紹介を行いません。

- ②商品選定にあたっては、「お客さま本位」であることを最優先し、販売手数料の高い商品のみ推奨するような銀行本位の姿勢は排除します。

「毎月分配型投資信託」については、運用としては非効率となる可能性があることをお客さまに十分説明します。

- ③提案にあたっては、当該商品がお客さまにふさわしいと判断した理由を説明したうえで、お客さまのご意向との一致を確認します。

(3) 適切なアフターフォロー

- ①販売後のアフターフォローについては、市況急変時をはじめとして適時適切に実施いたします。

- ②アフターフォローにあたっては、市場動向の現状や見通し等について丁寧に情報提供するとともに、投資の目的を達成するための方法についてお客さまの立場に立ってアドバイスをを行います。

(4) 投資教育への取組み

- ①知識、経験が十分ではないお客さまに対しては、資産運用の基礎知識等の情報提供に努め、お客さまの知識向上と安定した資産形成をサポートします。
- ②お客さまの資産形成に資するため、NISA、つみたてNISA、iDeCo等税制面の優遇がある制度を積極的に紹介します。

2. お客さまへの説明内容の充実

- (1) お客さまに商品内容を十分ご理解いただけるよう、商品の基本的な仕組み、価格変動要因および程度、手数料等について専門用語を極力使わずわかりやすく平易な言葉を用いて丁寧に説明します。

また、説明にあたってはタブレット端末の活用等により図表やシミュレーションを交え、視覚的にもわかりやすい説明に努めます。

- (2) 特に各種手数料等の費用については、お客さまの投資判断に重要な影響を与える項目として十分に説明します。説明にあたっては、可能なものは「料率」ではなく「金額」で説明するとともに、どのようなサービスの対価として当該手数料をいただくのかを説明します。
- (3) 商品説明はすべてのお客さまに対して画一的に行うのではなく、お客さま一人ひとりの知識・経験や商品内容の複雑さ等に応じて適切な方法・程度により実施します。
- (4) 金融商品の販売・サービスの提供にあたって、お客さまのご意向に沿った商品を案内できているか、説明にわかりづらい点はなかったか等をお客さまアンケートの実施により検証します。

3. 役職員の継続的なレベルアップ

- (1) お客さま本位の業務を徹底し、常にお客さま本位で考える姿勢を更に浸透させるため、経営トップのメッセージを継続的に行内に発信するとともに、各種会議・研修等において周知徹底します。
- (2) 役職員のコンサルティング能力および商品知識、金融経済に関する知識等の向上を図るため、継続的に各種研修を実施するとともに、ファイナンシャルプランニング技能士など資産運用に関する公的資格の取得を推奨いたします。
- (3) 業績評価制度については、過度に収益を重視した評価体系とならないよう配慮するとともに、お客さまの利益より銀行の利益を優先するような営業姿勢を排除する制度となるよう継続的に改善を図ります。結果については引続きモニタリングを実施し、お客さま本位の業務運営に資する施策の立案に活用してまいります。

以 上

なお、三重銀行および第三銀行の2017年度の取組みは次頁以降をご覧ください。

＜投資信託商品ラインナップ＞

カテゴリー		取扱本体数
国内	債券	5
	株式	12
	REIT	3
海外	債券	38
	先進国	22
	新興国	8
	ハイイールド	8
	株式	25
	先進国	19
	新興国	6
	REIT	12
バランス		17
その他		4
合計		116

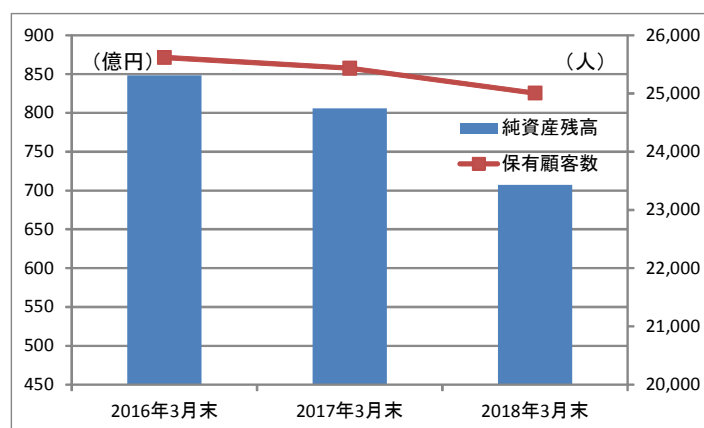
※うちノーロードファンド36本

＜保険商品ラインナップ＞

カテゴリー		取扱本体数
変額個人年金保険		2
	うち円貨	1
	うち外貨	1
定額個人年金保険		6
	うち円貨	3
	うち外貨	3
一時払終身保険		15
	うち円貨	7
	うち外貨	8
平準払終身保険		6
	うち円貨	5
	うち外貨	1
養老保険		1
医療保険		7
がん保険		1
収入保障保険、定期保険		2
合 計		40

※個人向けのみ

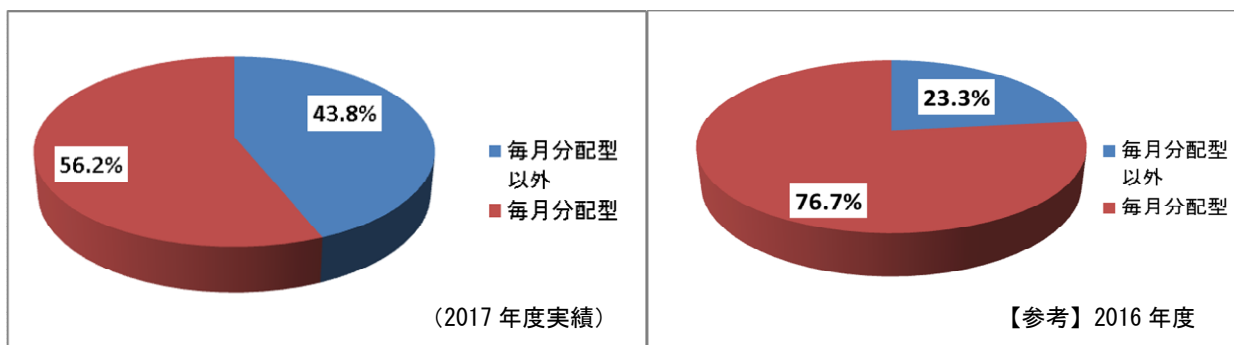
＜投資信託純資産残高・保有顧客数＞



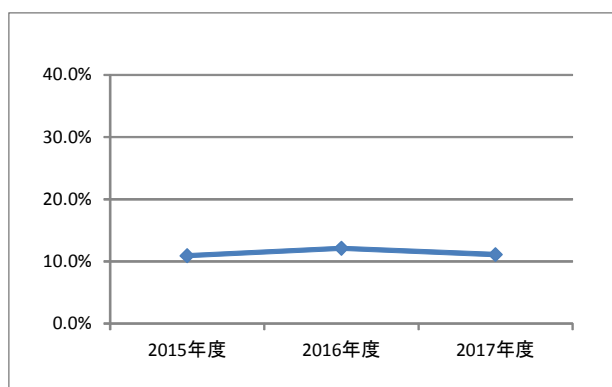
＜販売額上位ファンド＞

2017年度実績	ファンド名	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)	【参考】2016年度	ファンド名	分配 頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	年2回	3.0%		フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	毎月	2.5%
	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	毎月	3.0%		ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	毎月	3.0%		フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	毎月	2.5%
	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%		ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	毎月	2.5%
	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	毎月	2.5%		ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	毎月	2.5%
	アジア好利回りリート・ファンド	毎月	2.5%		米国短期社債戦略ファンド2017-03(為替ヘッジあり)	年2回	3.0%
	パインブリッジ米国ライジングスター好利回り債券ファンド2018-02	年4回	2.0%		フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	毎月	3.0%
	フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	毎月	2.5%		三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド(為替ヘッジ型)	毎月	3.0%
	トヨタグループ株式ファンド	年1回	3.0%		ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)(杏の実)	毎月	2.0%
	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%		フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)	毎月	3.0%

＜毎月分配型投資信託販売比率 投資信託全体／金額ベース＞

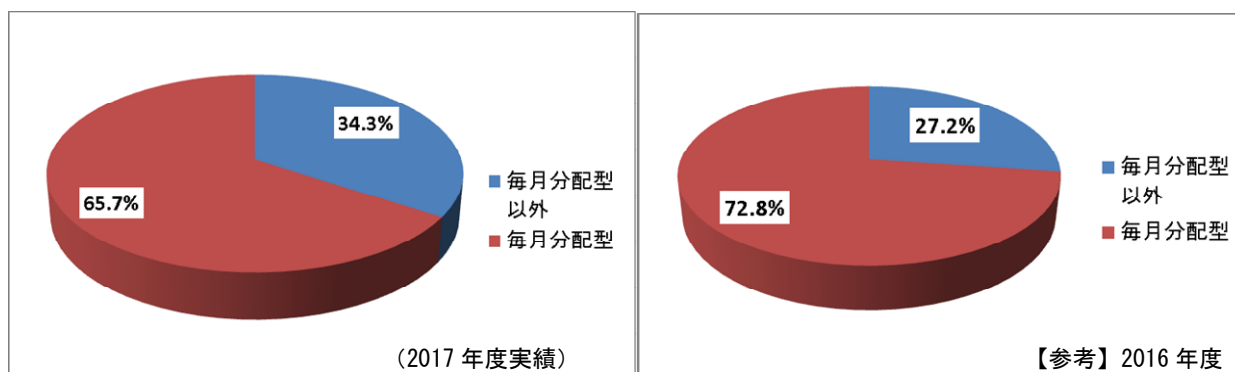


＜投資信託純資産残高に対する分配金の割合＞



※「分配金支払金額
÷ 投資信託純資産
平均残高」にて算出

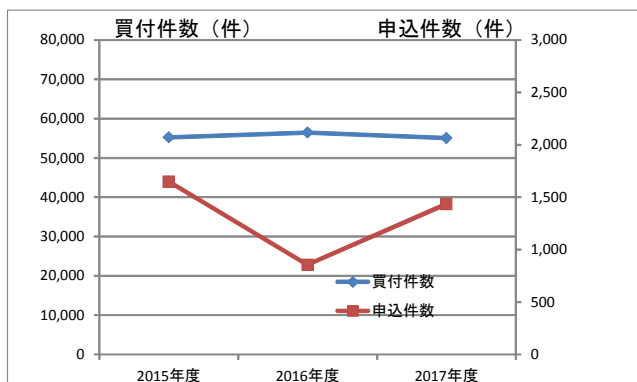
＜毎月分配型投資信託販売比率 うち積立投資信託／金額ベース＞



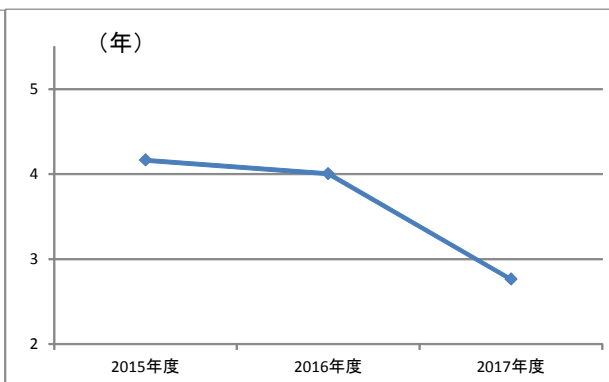
＜積立投資信託申込件数上位ファンド＞

2017年度実績	ファンド名	分配頻度	【参考】2016年度	ファンド名	分配頻度
	トレンド・アロケーション・オープン	年1回		ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月
	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	年1回		フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	毎月
	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	年2回		トレンド・アロケーション・オープン	年1回
	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月		ストックインデックスファンド225	年1回
	GSグローバル・ビッグデータ投資戦略Bコース(為替ヘッジなし)	年1回		ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	毎月
	ストックインデックスファンド225	年1回		ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	毎月
	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	毎月		ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	毎月
	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	毎月		ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	毎月
	野村インド債券(毎月)	毎月		グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	年1回
	トヨタグループ株式ファンド	年1回		トヨタグループ株式ファンド	年1回

＜積立投資信託 買付件数／申込件数＞

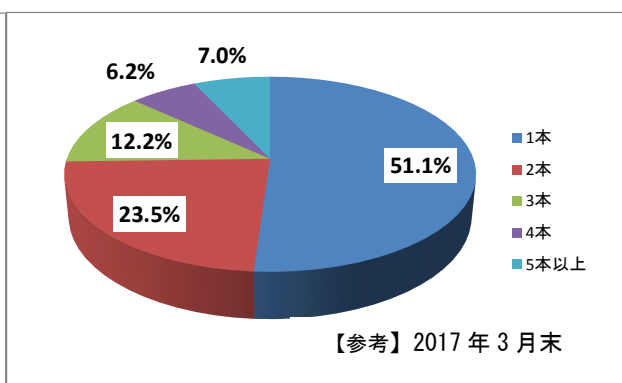
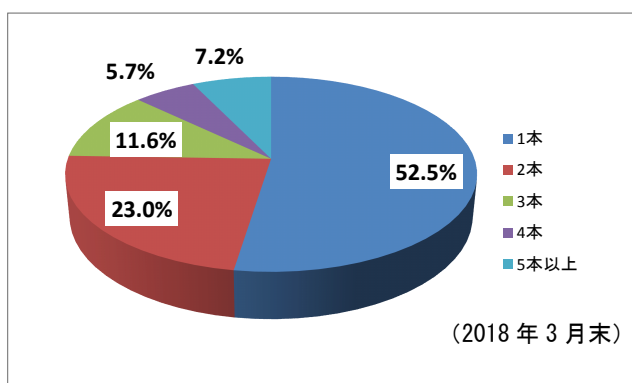


＜投資信託 平均保有期間＞

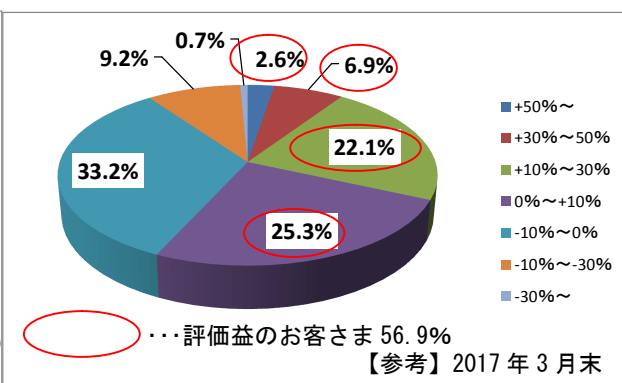
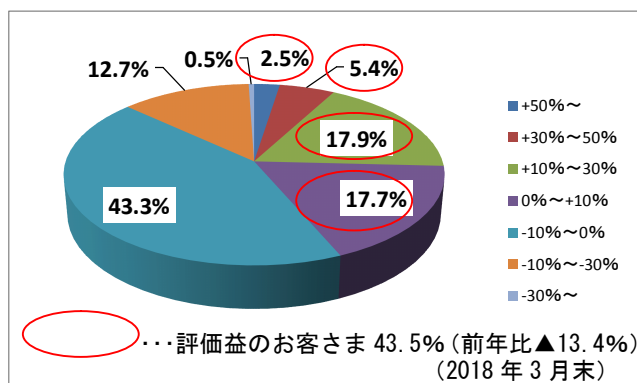


※「投資信託純資産平均残高÷解約額」にて算出

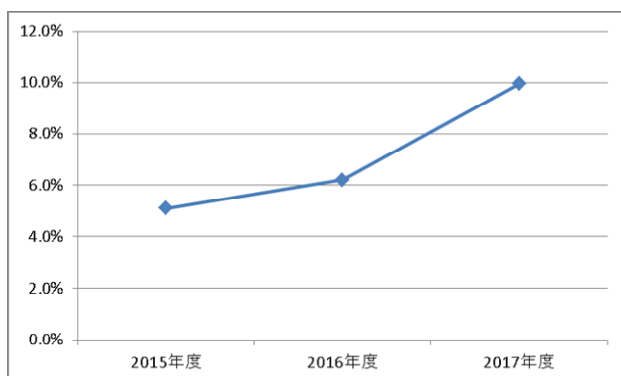
＜投資信託 複数銘柄保有顧客比率＞



＜投資信託 運用損益別顧客比率＞

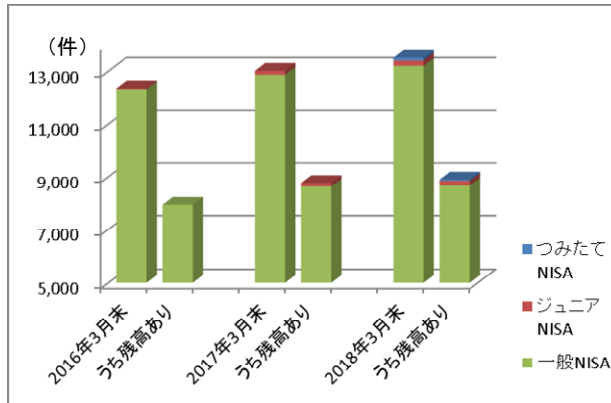
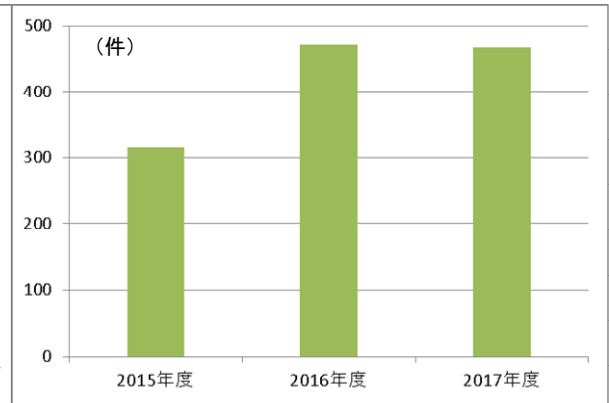


＜投資信託メインファンド販売比率＞

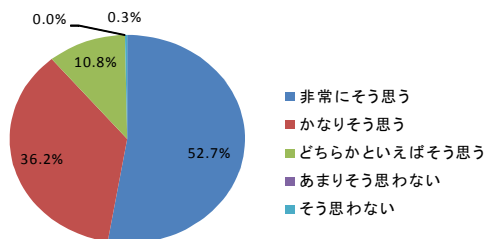


【メインファンド】

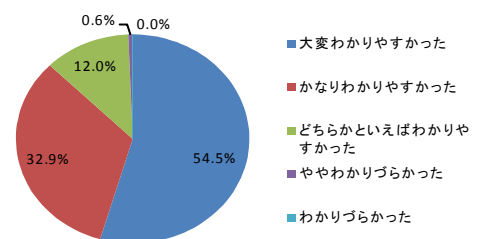
当行取扱いファンドのうち、複数の資産に分散投資するファンド、低リスクで安定的な値動きのファンド、自動的に資産配分見直しを行う機能があるファンドなど安定的な運用を目的とするファンドを指します。

<NISA口座数推移>

<iDeCo 受付件数>

<お客さまアンケート結果>

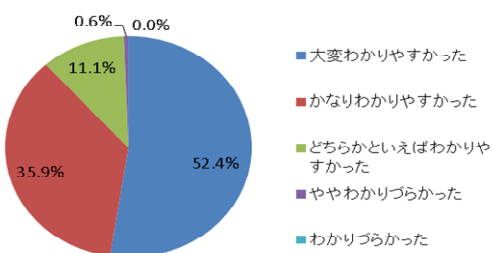
Q 1. 担当者は「お客さま本位」の姿勢で、お客さまのご意向に合ったご提案をさせていただきましたか？



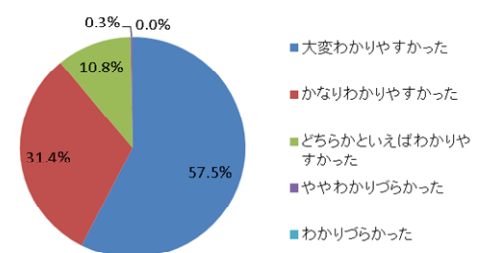
Q 2. ご提案させていただいた商品の内容について、担当者の説明はいかがでしたか？



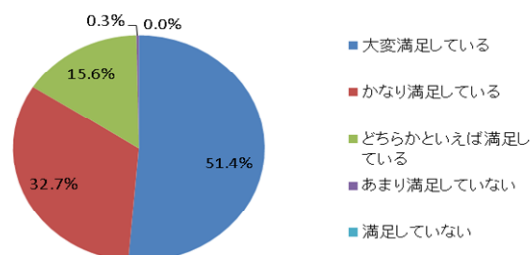
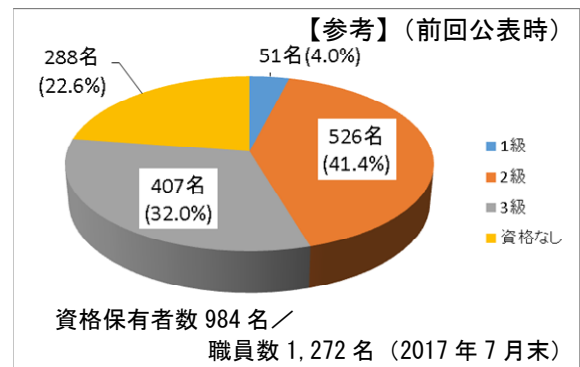
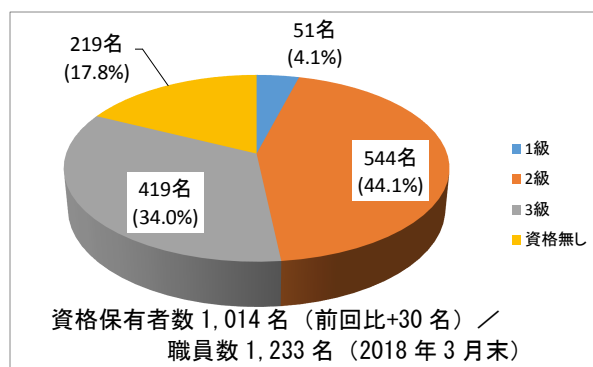
Q 3. ご提案させていただいた商品のリスクおよび程度について担当者の説明はいかがでしたか？



Q 4. ご提案させていただいた商品の費用の内容及び金額について、担当者の説明はいかがでしたか？



Q 5. 今回のお申込みに関するお客さまの満足度はいかがですか？


<ファイナンシャルプランニング技能士 資格保有者数>


＜投資信託商品ラインナップ＞

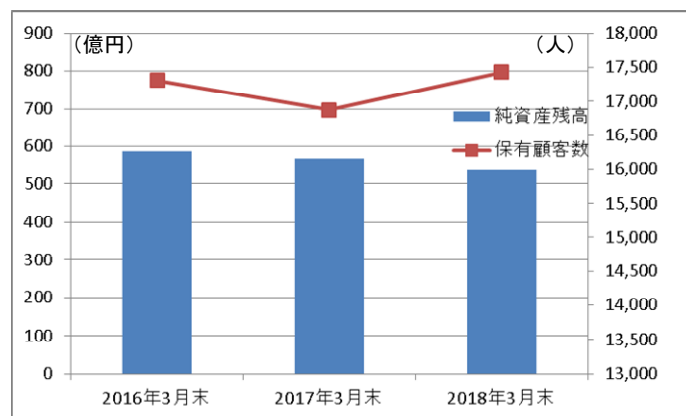
カテゴリー		取扱い本数
国内	債券	3
	株式	15
	REIT	4
海外	債券	23
	先進国	19
	新興国	2
	ハイイールド	2
	株式	24
	先進国	23
	新興国	1
	REIT	4
バランス		22
その他		15
合計		110

＜保険商品ラインナップ＞

カテゴリー	取扱い本数
変額個人年金保険	3
定額個人年金保険	7
一時払終身保険	17
平準払終身保険	17
医療保険	21
がん保険	9
収入保障保険	10
定期保険	10
学資保険	2
養老保険	2
介護保険	2
合計	100

※個人向けのみ

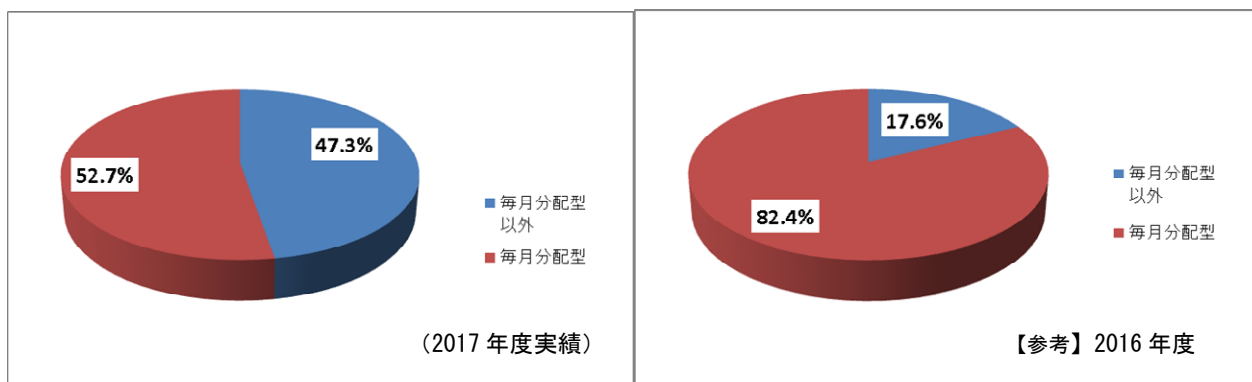
＜投資信託純資産残高・保有顧客数＞



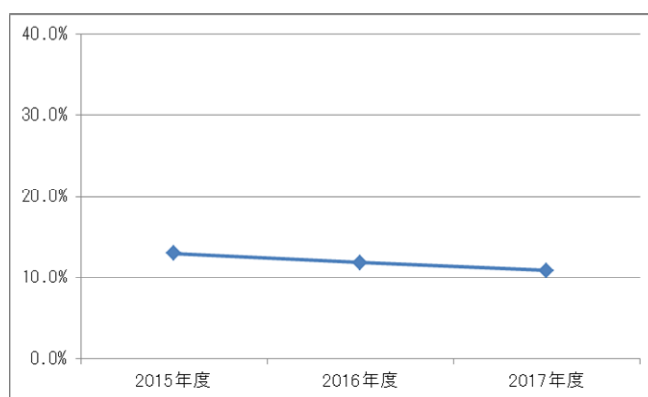
＜販売額上位ファンド＞

2017 年度実績	ファンド名	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)	【参考】2016 年度	ファンド名	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
	ジャパンロボティクス株式ファンド	年2回	3.0%		ワールド・リートオープン	毎月	2.5%
	グローバルロボティクス株式ファンド	年2回	3.0%		US-REITオープン	毎月	2.5%
	財産3分法ファンド	毎月	2.0%		ワールドインフラ好配当株式ファンド	毎月	3.0%
	野村インド債券ファンド	毎月	3.0%		財産3分法ファンド	毎月	2.0%
	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	毎月	3.0%		野村インド債券ファンド	毎月	3.0%
	ワールド・リートオープン	毎月	2.5%		MHAM J-REITインデックスファンド	毎月	2.0%
	US-REITオープン	毎月	2.5%		USハイイールドオープンBコース	毎月	3.0%
	ジャパンロボティクス株式ファンド	年1回	3.0%		花富簿17-03 [ヘッジあり]	年1回	1.0%
	グローバルロボティクス株式ファンド	年1回	3.0%		アジア・オセアニア好配当成長株オープン	毎月	3.0%
	インベスコ世界厳選株式オープン	毎月	3.0%		ジャパンロボティクスファンド	年2回	3.0%

〈毎月分配型投資信託販売比率 投資信託全体／金額ベース〉

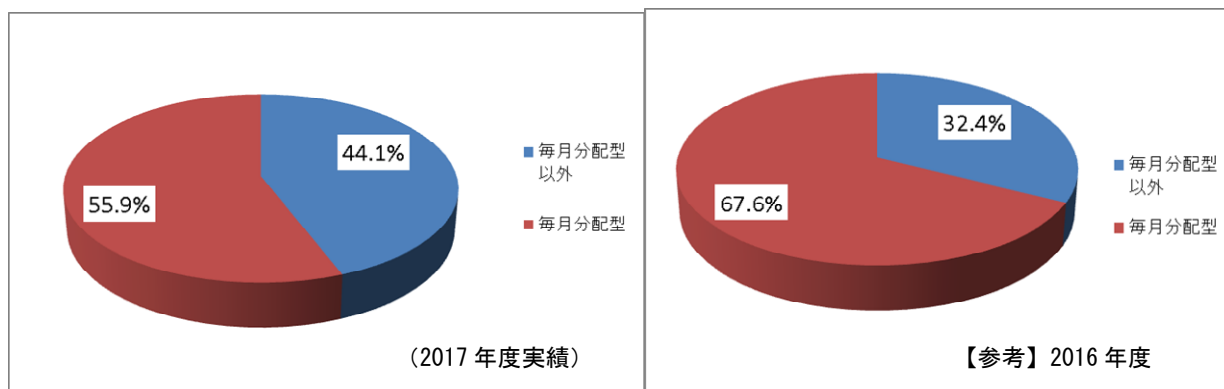


〈投資信託純資産残高に対する分配金の割合〉



※「分配金支払金額
÷ 投資信託純資産
年度末残高」にて
算出

〈毎月分配型投資信託販売比率 うち積立投資信託／金額ベース〉

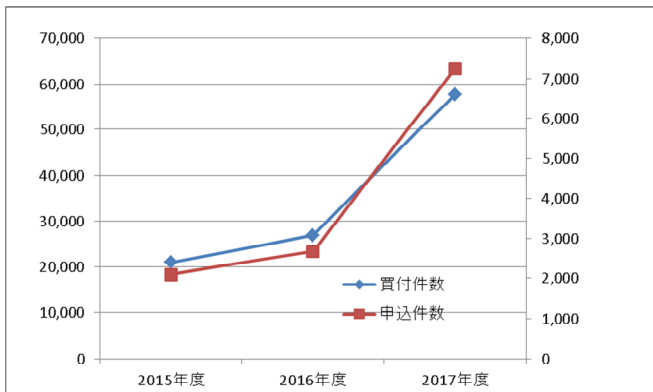


〈積立投資信託申込件数上位ファンド〉

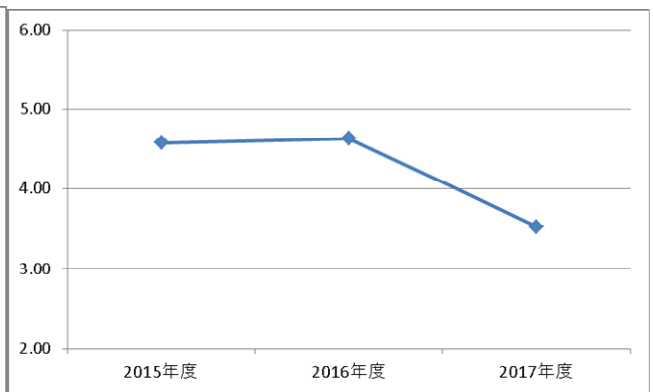
2017 年度実績	ファンド名	分配頻度
財産3分法ファンド		毎月
株式インデックス225		年1回
ワールド・リート・オープン		毎月
パン・パシフィック外国債券オープン		毎月
アジア・オセアニア好配当成長株オープン		毎月
トレンド・アロケーション・オープン		年1回
グローバルロボティクス株式ファンド		年2回
野村インド債券ファンド		年1回
ジャパンロボティクス株式ファンド		年2回
US-REITオープン		毎月

【参考】2016 年度	ファンド名	分配頻度
財産3分法ファンド		毎月
ワールド・リート・オープン		毎月
パン・パシフィック外国債券オープン		毎月
株式インデックス225		年1回
アジア・オセアニア好配当成長株オープン		毎月
US-REITオープン		毎月
トレンド・アロケーション・オープン		年1回
MHAMJ-REITインデックスファンド		毎月
グローバルヘルスケア&バイオファンド		年2回
トヨタグループ株式ファンド		年1回

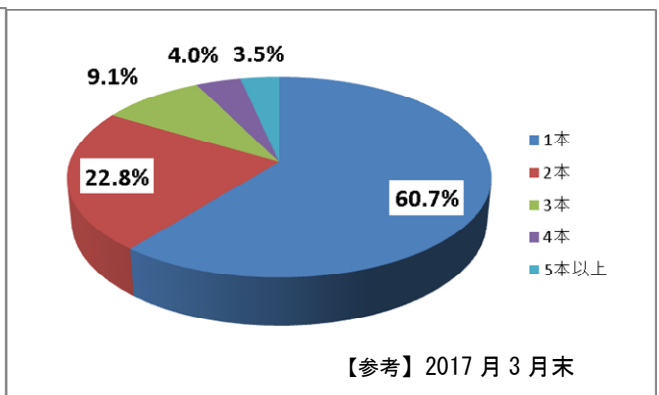
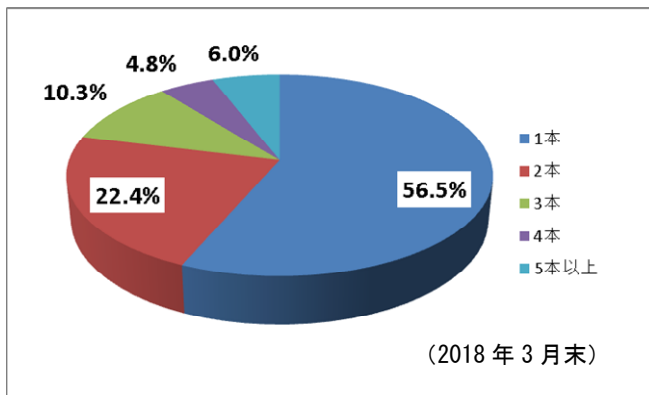
＜積立投資信託 買付件数／申込件数＞



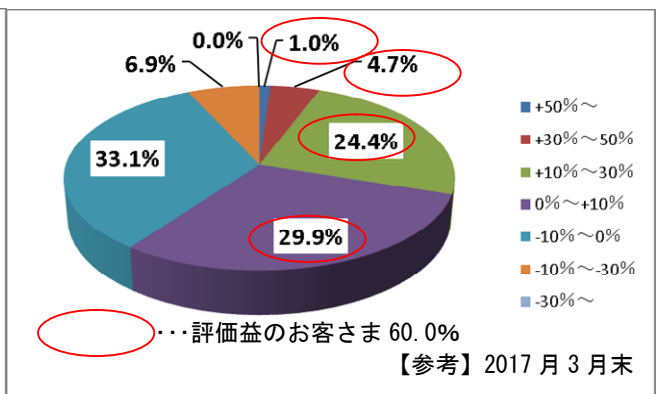
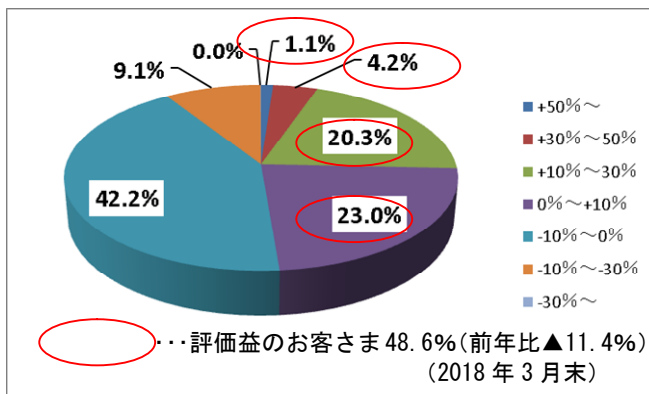
＜投資信託平均保有期間＞



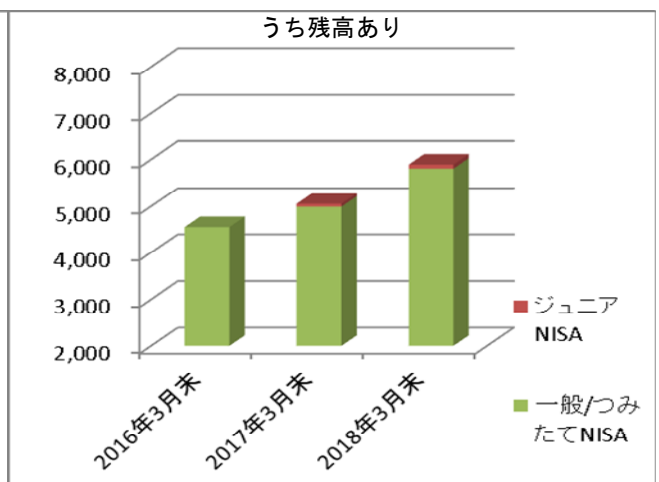
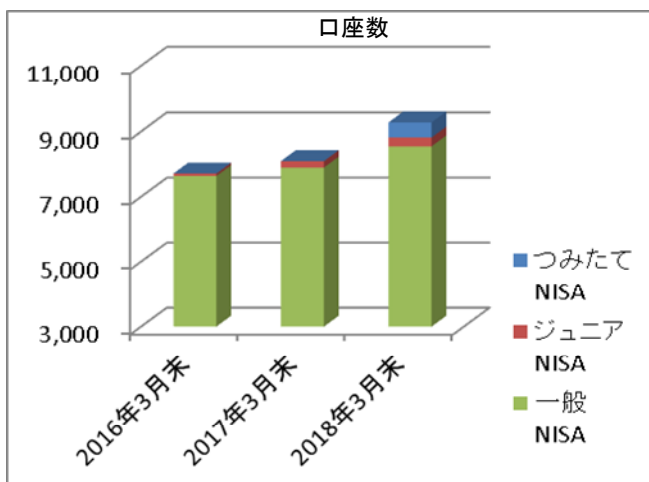
＜投資信託 複数銘柄保有顧客比率＞



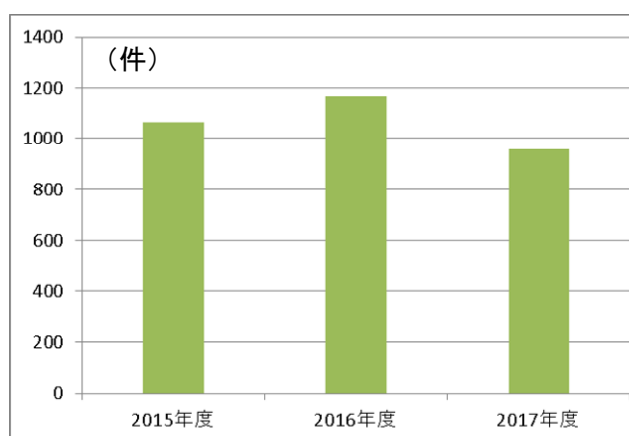
＜投資信託 運用損益別顧客比率＞



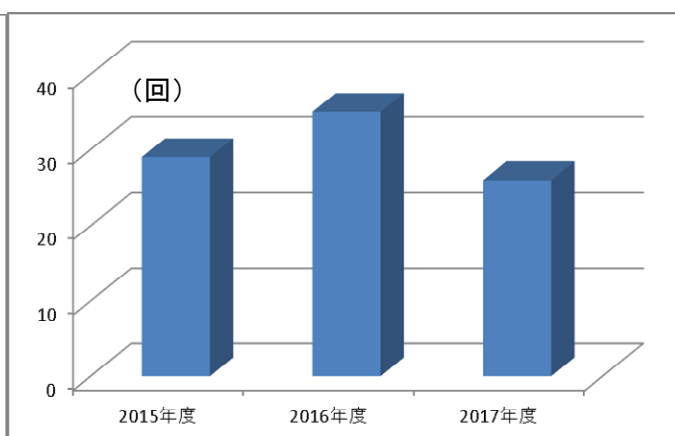
＜NISA口座数推移＞



〈iDeCo 受付件数〉



〈資産運用セミナー開催実績〉



〈ファイナンシャルプランニング技能士 資格保有者数〉

